

令和8年4月30日



学校だより 5月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

「安心・元気・チャレンジ」

校長 場家 誠

4月中頃から、相沢川沿いや下瀬谷団地周辺では、今年も色鮮やかな花を咲かせたツツジ(躑躅)が見られました。地域の皆様が、花壇やその周りをいつもきれいに整えてくださっているからこそ、見られる光景です。ありがとうございます。また、瀬谷区内では5月10日(日)まで「瀬谷オープンガーデン」が開催されています。区内各所で、右の写真にあるようなきれいな花々を見ることができます。ぜひ、皆様もお楽しみください。



さて、新学期が始まって、3週間たちました。

保護者の皆様や地域の皆様には、今年の「さくらの子」は、どのように映っていますでしょうか。もちろん、学校にはいろいろな子がいますから、

一様に語ることは難しいかもしれませんが、私には今年も多くの子どもの「**元気**」な様子が見られます。

実は、2年生から6年生の子どもたちには、4月7日の始業式に、故アントニオ猪木さんの有名な言葉「**元気があれば何でもできる**」を紹介しながら、まずは今年も「**元気**」でいてほしいことを伝えました。「**元気**」であるためには、「**しっかり食べる**こと」と「**ゆっくり休む**こと」、そして「**適度な運動**をすること」が大切であることを説明したところ、多くの子どもたちがうなずいてくれていました。そんな話の効果が出ているのか、今のところ、日々の欠席者数も少なく、学校には活気があふれているように感じます。

また4月12日の朝会では、その続きとして、子どもたちに「今年、期待することは「**チャレンジ**」です。」ということをお話しました。大人もそうかもしれませんが、今までやったことのないことや一見難しそうに思えることに対して、子どもは足踏みしがちです。何でもかんでも「やりたい、やりたい」という子がいることは確かですが、そうした子でも、いざ「じゃ、やってみて。」と言うと「やっぱりやめた。」なんて言うことが往々にしてあります。そこを乗り越え、今年には多くの子どもたちに、少し背伸びをして、いろいろなことに「**チャレンジ**」してほしいなと思っています。

ただし、ただやみくもに「やれ、やれ」と言われても、子どもたちだって簡単にやるわけがありません。「**チャレンジ**」を支えるのは「**仲間**」と「**安心**」です。「何を言っても否定されない」「失敗しても笑われない、励ましてくれる」そんな仲間に出会ったとき、子どもたちは「**安心**」して何かに**チャレンジ**しようとするのだと思います。学校だより4月号でもお伝えした通り、今年度は「**安心**」を最優先に考えながら、子どもたちが日々、「**元気**」に過ごし、何かに「**チャレンジ**」できる、そんな学校を目指してまいります。

連休明けも引き続き、皆様のご支援ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。